

平成30年度 学校自己、及び、学校関係者評価表 武蔵村山市立第三中学校

経営理念	学力向上と生徒にとって安全・安心な学校を目指す
------	-------------------------

【学校運営協議会・会長】中藤祥誉	様式4
学校運営協議会（学校評価分）	
第1回 4月26日（木） 第2回 7月19日（木） 第3回 12月13日（木）	

	経営目標 (中期・短期を明記)	目標達成のための方策	評価指標	自己評価				分析コメント(学校関係者評価委員会の意見、児童・生徒評価、保護者評価等の意見について、参考にする。)	改善策(来年度の目標設定、具体記な取組目標)	学校関係者評価		
				9月 12月		最終評価				意見	評価点 (4点満点)	
				達成値	達成値	達成度	評価					
確かな学力の向上	授業力向上を図る。	自己申告書等をもとに、指導法の工夫・改善を行う。外部講師を招聘した研究授業の実施	授業が分かりやすいと思う生徒の割合	90	87	89	98	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校は、丁寧な授業を行っている。特にICT機器の活用、NIEを取り入れた授業に力を入れている。 全教員が外部講師を招いての研究授業をする等、授業力向上に努めている。 校内研修の成果が、授業改善、学力向上にどのように反映されるか分かりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「主体的対話的で深い学び」の実践のための研修と授業改善を行い、成果を検証する。 「三中スタンダード」をもとにした授業、「補習授業」等を更に充実させ、基礎・基本の定着と思考力を高める取組を図る。 生徒による授業アンケートの成果と課題の分析、小学校との授業実践交流をもとに授業改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員が研鑽に励み、授業力アップに努めている。 学習内容が難しくなっても教員の努力によって生徒に分かりやすく努めていると見えます。 学年が上がるにつれ分かりにくい割合が増える工夫が必要です。学力別授業、補習授業があるといいと思う。 	4
	指導方法の改善・工夫を行う。	「生徒の自己評価活動」をもとに、検証を行う。	「学力の向上を実感する」ようになったと思う生徒の割合	80	65	71	85	A	<ul style="list-style-type: none"> 全教員による研究授業の実施の効果が出ている。 学習に躓きのある生徒の具体的な支援策を考え、実践することが課題である。 基礎・基本の定着に向け、補習教室の充実を行うと良い。 	<ul style="list-style-type: none"> アクティブ・ラーニング、横断的な視点を取り入れた授業計画に基づく授業を実践する。 放課後補習教室、長期休業中の補習教室等を活用して基礎的・基本的内容の定着を図る。 家庭学習等に関して、「学習の手引」の活用や面談による指導を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が学力がついたと感じるのは良いこと。2回目の方が全体的に満足度が高くなっている。外部講師を招いて研究授業を行う等、先生方の努力がそこそこのところだと思います。特に3年生については自信をもって受験を迎えるようになっていないかと思う。 学ぶことが楽しく感じる生徒がもっと増えてほしいです。 	4
	家庭学習の定着を図る。	「学習の手引き」をもとに、学習の仕方を学ばせ、各担任により、取組の進行管理を行う。「家庭学習状況調査」を実施し、検証を行う。	家庭学習を1時間以上行った生徒の割合	80	58	51	68	B	<ul style="list-style-type: none"> 家庭における生活習慣の見直し、学習習慣の定着化が必要である。 学力向上に必要な家庭学習の習慣化に向けて、「学習の手引」の活用や、保護者会や学年だよりなどを通して、家庭の協力を促していくことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 年5回の家庭学習チェックカードの充実と徹底を図る。 入学説明会、学習保護者会における内容に、具体的な家庭学習方法の紹介等も取り入れる。 三中校区の第三小学校、雷塚小学校2校と小中連携した家庭学習の習慣化を今後も継続して行う。 家庭学習リーフレットのもついたガイダンスの徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の時間が少ないのは残念。家庭の協力や、毎日学習できる環境づくりがないと目標達成が難しいと思います。 1、2年生については後半になると中だるみが出てくるので、前半の意欲を維持するための向上心をもたせる工夫が必要。 	3
豊かな心の育成	いじめ撲滅への取組	「いじめアンケート」「いじめ撲滅キャンペーン」等を活用して、思いやりの心を育成する。	安心して学校生活が送れているかの割合	90	98	80	99	A	<ul style="list-style-type: none"> 定期的ないじめのアンケート、担任を中心とする見守り等の取組の効果が出ている。 いじめに関して、教員の意識を常に高めておく必要がある。 学校生活に対して不安や悩みを抱えている生徒がいる場合は、迅速に対応をしていくとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめアンケートを定期的実施する。いじめのサインを見逃さず教員間で情報を共有し組織的に迅速・的確に対応する。 教員の人権意識向上と「いじめの対応」、「体罰防止」の研修会を実施し、教員の意識向上を図る。 ベテラン教員と若手教員で学級経営実践交流の話し合いの機会、ミニ研修を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 今三中は落ち着いていると思います。安心して生活できている状態が続いてほしいです。 おおむね安心して学校生活を送っているようであるが、引き続きD評価をなくすよう対応が必要です。当てはまらないと回答した生徒の理由が気になります。 安心な学校生活を送るのは挨拶からだと思えます。 	4
	特別な支援を要する児童・生徒への対応	教育相談の充実	生徒の悩みや相談に教師が親身に対応してくれていると感じる生徒の割合	90	64	73	76	B	<ul style="list-style-type: none"> スクールカウンセラー、ソーシャルワーカーを含めた教育相談委員会を週1回実施し、共通理解を図っている。 各関係機関との連携を図ってケース会議を実施し、情報交換と対応策を立てた。 スクールカウンセラーと生徒の全員面談を実施し、生徒理解に努めた。 個別の支援策としての別室指導を丁寧に行い、不登校傾向の生徒を登校させた。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談委員会の内容の充実を図る。 各関係機関との連携の推進を図る。 三者面談や家庭訪問の継続的な実施をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が本人以上に関心をもってほしい。また、本人も積極的に相談してもらいたい。 先生方が親身になって指導していただき、相談しやすい環境であるおかげだと思います。 保護者（生徒）が教育相談に行くことはとても勇気がある。気軽に相談できる工夫が必要です。 	3
	全校あいさつ運動の実施	あいさつをよくする生徒の育成	挨拶は大切だ、挨拶ができたという生徒の割合	90	98	93	106	A	<ul style="list-style-type: none"> 校内、校外での挨拶の習慣化が課題である。 部活動中にもかかわらず、門の開閉をしてくれたり挨拶してくれるのは心地よい印象である。 地域の方々との面接練習で、しっかりと目標をもって進路を考えていて良い印象をもちました。 	<ul style="list-style-type: none"> 部活動での挨拶の定着化、生徒会活動としての「あいさつ運動」を更に充実していく。 校長面接、地域の方々による面接練習を通して指導をしていく。 朝礼、各学年集会での指導をもとに、職場体験等であいさつ、マナーの実践指導を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> 私たちが学校へ行ってもどの生徒もよく挨拶してくれる。三中の良さ伝統である「挨拶がしっかりできること」これからも続けてほしいです。生徒たちの自己評価は高いと思う。 以前は大きな声で挨拶をしてくれたのですが、最近はあまり聞かなくなりました。家庭内においても毎日頃から挨拶することが必要です。 	4
健やかな体の育成	日常的な体力づくりの推進	ミニオリンピック大会の実施	ミニオリンピックに意欲的に取り組んだ生徒の割合	90	95	92	104	A	<ul style="list-style-type: none"> ミニ・オリンピックに生徒たちはクラス連帯意識をもって取り組んでいる。これにより、体力向上への意識が高まった。 東京駅伝、市民駅伝に向けての朝マラソンは、体力向上の他に継続する自信が付き、自分に対する自信を意識させた。 	<ul style="list-style-type: none"> 三中の伝統である「ミニ・オリンピック」を2020年実施の東京オリンピック・パラリンピックと関連させて更に内容の充実を図っていく。 体力向上のための朝マラソンは、内容、時期の改善を含めて継続していく。 市駅伝大会、東京駅伝大会、ロードレース大会に積極的に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 勉強だけでなくスポーツに真剣に取り組んでいるのは良い。 ミニオリンピック等のスポーツを通じて、クラスの団結力や思いやりの気持ち、体力づくり等大きな効果があると思います。 意欲が高まるような工夫を継続していただけたらと思います。 楽しそうに熱心に取り組んでいた。3年間モチベーションを維持続けられることが素晴らしいと思う。 	4
	食育の推進	食育の全体計画に基づく食育指導の実施	食に対する関心が高まったと思う生徒の割合	90	53	100	85	A	<ul style="list-style-type: none"> 食育講演を通して、健康や食生活に対する意識を高めさせることができた。 「弁当の日」の自分で弁当づくりを行う体験を通して、食や健康に関する意識を高め、保護者に対する感謝の気持ちをもたせることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 食育の講演会の充実を図る。 P.T.A、地域と連携した「食育」の推進を図る。 給食指導において、マナーの徹底と食材に対する関心を高めしていく。 「食育」の年間指導計画の工夫・改善を図る。 お弁当の日の活用を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 「お弁当の日」は大変良いと思います。家庭のコミュニケーションもとれている。これからも続けてほしいです。今後は「食べる」ということから「命」への関心へつながると良いと思う。 食育は大切なことです。食に興味をもてる生徒に育ててほしいです。 	4
開かれた学校	オリンピック・パラリンピック教育の推進	参加国や、環境についての学習の実施	オリンピック・パラリンピックに関心をもったという生徒の割合	90	40	45	47	C	<ul style="list-style-type: none"> オリパラ教育の一環として行ったアスリートとの交流、講演会はスポーツや障害者理解に取って有益であった。 東京オリンピックに向けて、オリンピック・パラリンピック教育の充実を図ることが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 2020年実施の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、世界ともだちプロジェクトによる様々な国を調べる活動を行う。 オリンピック・パラリンピック教育を授業、特別活動等を通して充実させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 2020年に向けて情報は増えていくと思うので、来年のオリンピックパラリンピックに向けてなお一層の浸透してほしいです。 	3
	学校の公開 保護者・地域との連携	学校公開週間の実施 地域人材の活用（いれあいフェスティバル・地域の方々のお話を聞く会）	学校の様子がよく分かるという保護者・地域の割合	90	95	94	105	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校公開、学校公開週間は設定しているが、保護者の参観が少ない。 3学年の地域の方々との面談を通して、地域と生徒たちとの交流を継続している。 地域の方のお話を聞く会を設定するなど地域の連携に力を入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校公開日の日程や内容の工夫・改善を通して参観者を増やす。 学校だより、ホームページ、ツイッターの内容を充実させる。 コミュニティ・スクール、グリーンサポーターなどの活動の充実を図り、成果について保護者・地域に取組の様子を発信していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組む行事は意義と需要があると感じるが、保護者の参観等が少ないのが残念。 昨年度と比較してツイッターの活用が大いになされている。学校内の様子がよく分かるように改善された。 地域の多くの方が三中のために支援していただいています。 	4

平均値

【達成度】 = [達成値] / [目標値]

【評価】 A：8割以上→目標達成とみなし新たな目標設定

B：8割未満5割以上→8割を超えるまで継続実施

C：5割未満→目標の見直し